

教育センターニュース

ミネルバ



佐賀県教育センター

〒840-0214 佐賀県佐賀市大和町大字川上

TEL 0952-62-5211(代) FAX 0952-62-6404

◎「ミネルバ」は教育センターWeb でもご覧いただけます。

掲載記事

- 教育実践交流会
- トラブルの未然防止や解決に向けた活動プログラムの提案
- ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりの提案
- 長期研修生の紹介
- お知らせ

第16回 教育実践交流会

【テーマ】

子どもの明日を拓く[授業力][学校経営力][教育研究力]向上を目指して

— 広げよう交流の輪，高めよう実践力 —

開催期日 平成27年1月7日(水)

教育実践交流会は、参加者同士の教育実践の共有などを通して学び合う場です。これからの佐賀県教育を担う先生方や、次世代の教師を育成する先生方にとっても、実り多い1日となるように企画しています。内容は、参加者同士の教育実践の紹介や情報交換を中心とした交流Ⅰ・交流Ⅱの各分科会・ワークショップ、また、長期研修生によるポスターセッションや教育講演などを予定しています。

教育実践交流会「全体会Ⅱ」

NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」に出演された 荒瀬克己先生をお迎えして教育講演を行います



演題： 授業をどのようにデザインするか

講師： 大谷大学 文学部教授 荒瀬 克己 先生

平成19年、京都市堀川高校の校長の時、NHK「プロフェッショナル仕事の流儀『背伸びが人を育てる』校長・荒瀬克己」に出演。生徒の興味を引き出す仕掛けを取り入れた学校改革を行う。生徒の学ぶ楽しさを目覚めさせ、その結果として国公立大学への現役合格者数を1年で6人から106人に増やし「堀川の奇跡」として注目される。平成26年より、現職で活躍中。

教育実践交流会では、先生方と互いの教育実践を交流したり悩みを気軽に相談したりすることができ、ネットワークを広げるきっかけにもなります。昨年度の様子をもとに1日の流れを紹介します。



9:00	受 付
9:30	全体会Ⅰ
10:00	開会式・表彰式
10:20	交流Ⅰ
11:50	分科会 ワークショップ
13:00	昼 食
13:00	全体会Ⅱ
14:30	教育講演
14:50	交流Ⅱ
16:20	分科会 ワークショップ



教育論文の表彰式を催します。
素晴らしい栄誉に拍手を。
優秀賞・優良賞を受賞された教育論文は、2月中旬に教育センターのWebに掲載予定！

交流Ⅰ・Ⅱは、授業実践や研究内容の紹介と情報交換の場です。授業に役立つヒントを得ることができますよ。



(昨年度の参加者の声)

- ・先生方が普段使われている「指導のポイントやコツ」を聞くことができた。
- ・小学校と中学校、それぞれの視点から英語教育を考えるよい機会になった。
- ・日頃できない実験、観察をすることができ、大変勉強になった。

【今年度の分科会・ワークショップ】

1. 算数科 (小)	2. 図画工作 (小)	3. 社会科 (小中)
4. 国語科 (中)	5. 英語科 (中)	6. 家庭科 (中)
7. デジタル教材作成 (高)	8. 理 科 (全)	9. 特別支援教育 (全)



毎年、心にグッとくる話が聞けると好評です。
今年は「堀川の奇跡」で有名な荒瀬先生の熱い思いを直に聞くことができます。乞うご期待！

交流Ⅱは、各教科領域の分科会と長期研修生によるポスターセッションが行われます。佐賀県の課題解決を目指した、半歩先行く実践を聞くことができますよ。



長期研修生の
ポスターセッション

(昨年度の参加者の声)

- ・意見交流を通して、他校種や他地域のICT利活用の現状を知ることができて参考になった。

【今年度の分科会・ワークショップ】

10. 国語科 (小)	11. 道 徳 (小)	12. 校内研 (小中)
13. 数学科 (高)	14. 地理歴史科 (高)	15. 情報モラル (全)
16. 教育相談 (全)	17. 長期研修生によるポスターセッション	

教育実践交流会は、通常の研修講座と違い、1コマだけ、午前だけや午後だけの参加も可能です。また、校種に関係なくどの分科会・ワークショップでも選択できます。詳しくは、10月下旬に各学校に配信しています、教育実践交流会のリーフレットをご覧ください。(Webでもご覧いただけます。)

11月10日～25日の期間に、教頭先生を通してお申込みください。

トラブルの未然防止や解決に向けた活動プログラムの提案

テーマ「支え合う人間関係を築くための支援の在り方」

小・中・高等学校教育相談

学校では、児童生徒同士のトラブルは日常的に起こるものです。しかし、教師が全てのトラブルに関わって対応していくことは難しい現状があります。そこで、児童生徒同士でトラブルを未然に防止したり解決したりする学習プログラムを提案します。



実態調査「トラブルについてのアンケート」

県内の小・中・高等学校において、児童生徒同士におけるトラブルの場面やトラブル時の対応等について調査します。また、学習場面を身近に感じることができるよう、アンケートの結果を活動プログラムに生かします。



【活動プログラム】

〈第1次〉

怒りについて知る

トラブルにつながる「怒りの感情」について学習します。また、「怒りの感情」をコントロールする方法についても学習します。

〈第2次〉

トラブル未然防止のスキル学習

学校生活で起こるトラブルの場面に基に、トラブルにならないような話し方や聴き方のスキル学習をします。

〈第3次〉

トラブル解決のスキル学習

学校生活で起こるトラブルの場面に基に、ロールプレイングを行うことによって、児童生徒同士でトラブルを解決するスキル学習をします。

ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりの提案

小・中・高等学校特別支援教育

小・中学校の通常学級及び高等学校において、「ユニバーサルデザイン」の視点を取り入れた具体的な支援例と支援の有効な取り入れ方を提案します。

※ 「ユニバーサルデザイン」とは、1980年代にノースカロライナ州立大学のロナルド・メイス氏が提唱した概念で、「誰にとっても便利なデザイン」のことです。

小・中学校の通常学級及び高等学校において、特別な教育的支援を必要とする児童生徒が在籍していることが明らかになりました。



- ・小・中学校…6.5%（「通常学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果〈平成24年12月；文部科学省〉」）
- ・高等学校…2.2%（「特別支援教育の推進に関する調査研究協力者会議高等学校ワーキング・グループ〈平成21年8月；文部科学省〉」）

このように特別な教育的ニーズのある児童生徒を含めた、すべての児童生徒にとって学びやすい授業づくりが求められています。

授業におけるユニバーサルデザイン

〈本研究におけるユニバーサルデザインの4つの視点〉

環境の工夫

授業の組立

説明の工夫

個人差への配慮

4つの視点を踏まえて「障害の有無等にかかわらず、すべての児童生徒が、学習活動に参加している実感や授業内容を理解した達成感をもつことができる授業」を実現できるように研究を進めています。

研究の成果は、3月末に教育センターWebに掲載しますので、ご活用ください。

【問い合わせ先】研究課 生徒指導担当 TEL：0952-62-5230(直通)

長期研修生の紹介

来年度の募集要項は、12月初旬に各学校に配布されます。

思考力、判断力、表現力を高める学習指導の在り方

嬉野中学校	中島 みどり	国 語
若基小学校	※大坪 亜希子	社 会
思斉小学校	桑原 良太	社 会
朝日小学校	笠原 圭治	算 数
北方中学校	※林 真 一	理科(ICT)
多良中学校	※尾形 直美	英語(ICT)
長松小学校	渡邊 知美	生 活
晴田小学校	古賀 悠里江	家 庭

教育センターにおいて、研究に係る文献調査、所属校での検証授業、指導方法の探究などを計画的に行い、実践を基にした研究を進めています。

また、様々な校種や教科等の長期研修生が互いに切磋琢磨しながら視野を広げた取組に努めています。

研修期間

通年(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

半年(平成26年10月1日～平成27年3月31日)

他者との関わりを豊かにする指導の在り方

久保泉小学校	※野中 義昭	道 徳
西川副小学校	山田 明子	道 徳
波多津小学校	平川 敏誠	道 徳
伊万里中学校	古賀 麻紀子	特別活動
城南中学校	川上 知子	進路指導

個や集団の成長を促す教育的支援の在り方

御船が丘小学校	田中 真理子	教育相談
武雄中学校	小森 千夏子	教育相談

特別支援学校における個に応じた支援の在り方

中原特別支援学校	水野 留美子	特別支援教育(ICT)
伊万里特別支援学校	高倉 紀子	特別支援教育

※は、通年の長期研修生です。

教育実践交流会では、長期研修生が研究の内容を発表します。

長期研修生の過去(平成13年度～平成25年度)の研究成果は、教育センターの Web でご覧いただけます。

(Web／「教育センター」[研修・講座](#) → [長期研修事業](#))

お知らせ

❶ 「所報ミネルバ」は、デジタル配信になります。

「所報ミネルバ」は次回号から SEI-Net「文書管理」による PDF 形式での配信に移行します。

教育センターの取組や旬なニュースをお届けできるように一層努めて参ります。これからもご講読、ご活用をよろしくお願いします。

❷ 学校等支援を依頼する際の申請方法を簡略化します。

学校等へ出向いての支援では、文書作成の簡略化を図るために、依頼する際の申請書様式(Excel 形式)を設けました。様式を教育センターの Web からダウンロードし、メールに添付して提出してください。

なお、依頼される際には、これまで同様、あらかじめ関係教科や領域の担当所員との打合せ、相談の上、お申込みください。

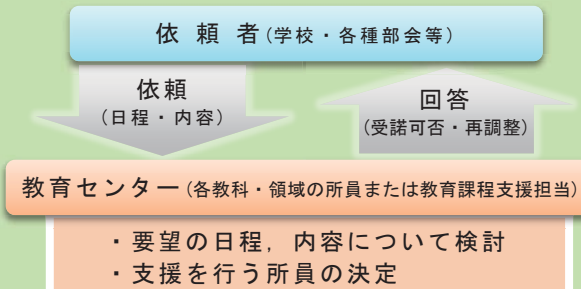
(Web／「教育センター」[相談・支援](#))

→ [所員による学校等支援](#))



依頼の手順について

依頼から担当決定まで



申込み方法や申請書様式等の詳細については、Web でご確認ください。